

こんにちは!戸田の会です。

戸田市議会会派 戸田の会レポート Vol.4 (2018年1月発行)



やざわはるか
矢澤青河

さとうたかのぶ
佐藤太信

さかいいくろう
酒井郁郎

こんのももこ
金野桃子

あそうかずひで
浅生和英

12月定例会が閉会。主に補正予算や条例改正などを審議・認定いたしました。議案審議に先立ち、去る10月に行われた豪州リバプール市への議員派遣の報告が、約25分間に渡って行われました。議案の中でも特に国民健康保険の値上げを伴う議案は、国保を利用している市民のみなさんの生活に大きな影響を与え得る重要な案件の1つでした。国保を扱う主体(保険者)が市から県へ移行するのに伴う措置となります。今後の動向や対策を注視していきたいと思っております。

平成29年12月議会

質疑 市政を問う

■ 戸田公園占有問題 訴訟上の和解

昭和33年、市と市有地を交換した際自己所有と誤認した賃貸人から土地を借りたY氏らに対し、市が明け渡しを求め提起した裁判について、訴訟上の和解を行うもの。

Q. 問題が発覚した昭和47年以降、市が適切に管理していたとしたら得られたであろう賃借料は現在の基準に基づけば、どのくらいになるのか。

A. 約1億1500万円となる。

■ 戸田市都市公園条例の一部改正条例

荒川水循環センター上部公園のパークゴルフ場がオープンするにあたり、条例を一部改正するもの。

Q. パークゴルフ場の使用料と見込みは。

A. 受益者負担割合から算定すると、1人1日1,155円になるが、周辺自治体とのバランスと競争力を考慮し、1人1日900円とする。利用者数は、約26,000人/年、収入は、2340万円/年を想定している。

■ 一般会計補正予算・生活保護扶助費

主に生活・住宅・医療・介護の4つの扶助費からなる生活保護扶助費に約4,500万円を追加する補正予算。

Q. 過去5年間でどのくらい増えているか。またその理由は。

A. 5年間でおよそ9億600万円増加している。生活保護世帯が平成25年度の1,546世帯から1,783世帯へ15.3%増加している。増加した理由は10割負担となる65歳未満の要介護者が増加したため。

■ 職員の特殊勤務手当の一部改正条例

潜水作業を伴う水難救助活動や捜索活動を行った消防職員に対して支給額600円の業務手当を追加する条例。

Q. 消防業務手当の項目を追加した経緯と概要は。

A. 戸田市消防本部では平成27年度以降、本格的に潜水隊を組織し潜水業務を開始したことから、手当の項目を追加。潜水活動は平成27、28年度でそれぞれ1件。潜水隊は約5名編成のため、支出見込みは3,000円程度。



会派代表

1975年3月4日生、無所属、3期目
【学歴】東京大学医学部卒業・修了
【職歴】マッキンゼー(経営コンサルタント)、(株)ポピンズ(保育)、医学教育事業
【委員会】戸田市監査、文教・建設(委員長)、議会改革(委員長)他

昨年の10月に総選挙が行われました。選挙結果はともかく、国政政党が「保守主流派」「保守改革派」「リベラル」の3極にきれいに割れたことで、今後「政策で選ぶ選挙」を実現する体制となり、大きな意義があったと感じています。

私たち戸田の会では国政、地方選に関わらず、「期日前投票を利用して、投票に行きましょう」というキャンペーンを行っており、総選挙の間中も投票率向上キャンペーンを実施しました。前回の総選挙で期日前投票を利用した戸田市民は1万人。今回はなんと1万7千人！1回の選挙で実に7割アップです。期日前投票は、だれでも利用できる大変便利な新しい投票の形ですので、ぜひ皆様もご利用下さい。

さて、総選挙は国の行方を左右する大事な選挙ですが、戸田市政は私たちの生活を左右する、やはり大事な政治の場です。特に、現在大きな過渡期にある戸田市は産業構造が大きく変化し、人口はますます増加し、若年人口が増え、その一方で高齢化も急速に進んでおり、財

政的な余裕は無くなっています。時代の先々を見越して、よその自治体の先進事例を調査しつつも、わが戸田市に本当の意味で適合した政策を、誤ることなく選択していくことが求められる。そんな難しい局面にあると思います。

もちろん、「ピンチはチャンス」の言葉どおり、このチェンジの時代をいい方向に導くことで、戸田市は絶対に良い町にできると確信しています。神保現市長は既に引退を表明しており、今年には実に20年ぶりに新しい市長が誕生することが確実視されています。そのため、今年3月に迫る市長選は、戸田市がどのような町を目指すのか、一度立ち止まって考える絶好の機会です。候補者各位には最低限、次のような長期的視野に立った課題設定と、それに基づく政策論議を活発に行って頂きたいと望みます。

1. 「人生90年時代」に即したまちづくりを、高齢者の就労、生きがい、健康の各側面から推進すること。
2. 少子化を食い止め、人口が保たれる出生率2.07を目標とした、総合的な取り組みを行うこと。
3. 市財政の悪化と行政サービス需要の拡大に対応し、財源確保と行政運営の効率化を図ること。
4. 中央集権による国家運営の行き詰まりに対応し、戸田市独自の政策づくりと住民参加の推進を図ること。



会派幹事長

1983年3月2日生、無所属、2期目
【学歴】慶応大学、同大学院修了
【職歴】国会議員公設秘書
【委員会】健康福祉(副委員長)、議会運営、議会改革他
【その他】防災士、手話検定2級

贈賄側A社の戸田市との契約状況は？

【背景】 2017年10月、上尾市で市長・議長が入札に際し、現金を受け取った等として贈収賄罪等で逮捕されました。一部報道である通り、贈賄側A社は戸田市でも契約を受注しており、私が調べたところ20年以上随意契約にて仕事を受けていたことがわかりました。そこで、過去・現在の契約状況、不正の有無、今後の対応等を求めました。

こんの 贈賄側A社は戸田市でも20年以上契約をしているというが、その詳細は。

財務部長 A社とは平成6年度、介護老人保健施設の建設当初から施設管理を20年余り約4000万円/年で、27年度



▲上尾贈収賄事件



▲介護老人保健施設

から市民医療センターを含め約6000万円の随意契約で委託(落札率100%)。28年度から一般競争入札へ変えたところ、他社が3年間約8000万円で落札した(落札率27%)。

こんの ①行政契約は一般競争入札が原則。なぜ長年随意契約だったのか。②落札率100%の理由は。③一般競争入札に変え、落札率が急落した理由は。④入札参加停止措置は。⑤随意契約ガイドラインの公開を。

財務部長 ①緊急の必要があった。②A社のみで見積もりを予定価格にした。③県等に合わせ変更した。競争原理が働いた。④4か月以上1年半以下。⑤検討する。

こんの 市長はA社との面識があるか。資金提供はあるか。市への働きかけはあるか。再調査の意向は。

市長 面識も資金提供も働きかけもない。再調査は行わない。戸田市では適正な行政契約に努めて参る。

【ポイント】 A社は20年以上、随意契約で仕事を受注しており、A社一社の見積り額を予定価格としていたため、落札率はほぼ100%です。随意契約はあくまで例外であり、長年の随意契約は好ましくありません。市長はA社との面識も資金提供も働きかけも否定しました。私も市民の一人として、戸田市でのクリーンな市政運営を信じています。



1968年4月25日生、無所属、1期目
【学歴】法政大学卒業
【職歴】山一証券株、美容室VASE代表
 戸田市スクールソーシャルワーカー
【委員会】総務、議会広報、交通対策他
【その他】社会福祉士、精神保健福祉士

■窓ガラスを割り校舎へ避難できるか？

【ポイント】 休校日の学校等への避難は、AEDの活用と同様に窓ガラスを割るなどの手段が求められる。学校などは次の日に子どもたちが登校することを考えると、学校開放利用団体と、どの場所から建物内へ避難するかなどについて、あらかじめ協議を行う必要がある。極めて短時間に避難すること、またはAEDを取り出すためには日ごろからの想定が重要である。

あそう 緊急事態の有事、なかでも弾道ミサイル発射に伴いJアラートが鳴った場合、①公共施設への一時避難はできるか。②小中学校はどこかの教室、廊下ともガラスに囲まれている。対応や指導は。③スポーツ少年団など学校利用団体は窓ガラスを割り、校舎へ避難できるか。

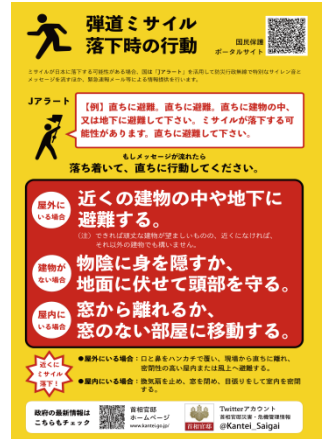
危機監理監 ①公共施設の利用は弾道ミサイルから身を守る有効な手段と考えている。

教育部長 ②避難訓練を実施、計画している。その時々状況に応じて適切な判断を行えるような力を身に付けることが重要である。児童生徒にそのような力を育成して参る。避難訓練では実際のJアラート音を聞かせ、カーテンを閉め、窓から離れ、教室中央に集まり、机の下に頭を入れた。

③何よりも大切なのは、人の命。有事の際は学校開放利用団体の判断により、校舎が安全と判断した場合、校舎の窓を割って校舎に避難して構わない。学校開放運営委員会時に学校開放利用団体と学校側で、よく協議するよう通知した。

市民生活部長 ③学校開放利用団体と学校側とのコミュニケーションが重要である。学校開放運営委員会で全利用登録団体に周知し、安心して施設を利用できるよう努めていく。

あそう 市全体、市内全校の避難訓練が必要。刃物を通さない防刃布の活用などを要望。合わせてAEDを利用時の備えも進めてほしい。



▲国民保護ポータルサイトより 弾道ミサイル落下時の行動



1980年5月18日生、無所属、1期目
【学歴】中央大学、大正大学卒業・修了
【職歴】東京電力、児童福祉施設、乳幼児教育相談、スクールカウンセラー
【委員会】市民生活、議会広報、交通対策他 **【その他】**臨床心理士

■スクールゾーンを通行する車の対策を！

佐藤 笹目小学校通学路等において、時間帯通行禁止の規制があるスクールゾーンを通行する車の対策は。

市民生活部長 当該通学路について学校関係者や町会から意見を伺い、路面表示や看板設置など検討する。

佐藤 見守り活動に携わっている方が意見や要望等言える仕組みは。

市民生活部長 市役所防犯くらし交通課、学校等で意見・要望は受け付ける。



【ポイント】 当該地域のスクールゾーンは、小学校等を中心とするおおむね半径500メートルの地域を対象に、通学路の一部が通学等の時間帯に限り自転車及び歩行者専用道路に指定されており、市内では68カ所ある。通行車両による指導・取締り等は、県警本部の方針により実施状況は公表されていない。

■路面標示の塗り直し計画の公表を！

佐藤 見えにくい路面標示が見受けられる。今後の路面標示の塗り直し予定や計画を市の広報やHPに公表を。

市民生活部長 年度ごとに重点区域を定め、平成29年度は笹目南、氷川、中町の各地区において塗り直しを実施。工事着手予定がある計画について、周知方法を検討する。

■公衆無線LANサービスの拡張を！

佐藤 市内公共施設において無線LANサービスについてどのように整備していくのか。

総務部長 平成30年度から複数の公共施設にアクセスポイントを設置、公衆無線LAN利用ができるようにする。利用申請すれば、一定期間利用することが可能。



外国語による案内周知は、市のHPに案内を掲載予定。

佐藤 災害時のインターネット接続、00000JAPAN※(ファイブゼロジャパン)の開放は。

総務部長 公共施設、小中学校において、インターネット接続、テレビ電話の利用が可能になる。今後、利用できる場所にわかりやすい接続方法の掲示を行うなど、周知方法について検討する。

※00000JAPAN:災害用の統一ネットワーク。パスワードなしでインターネットに接続できる。



会派会計

1986年5月21日生、無所属、1期目
【学歴】鹿児島大学卒業
【職歴】ラチオつくば(FM放送局)、
 県議会議員秘書(6年間)
【委員会】市民生活、交通対策他
【その他】消防団、防災士

■し尿収集手数料の集金業務の見直しを！

やざわ 戸田市では、2か月毎に口座振替や戸別集金で年間95万円を徴収しているが、その集金コストに136万円掛かっている。原因の戸別集金廃止など、検討出来ないか。

環境経済部長 廃止は難しい。今後区画整理が進み、汲み取りが減少する中では、今の形態が良いのではと考える。

【ポイント】 後日、酒井議員のアドバイスにより、集金額度を減らし、コストを抑える方策を進めて頂ける見通しとなりました。

■持ち去り対策と集積所適正管理を！

やざわ 足立区の徹底的な持ち去り対策や杉並区ふれあい指導班*のごみ出し適正化のように、更なる推進や対策を。

環境経済部長 平成29年度、持ち去り防止パトロールを強化、GPS事業も継続。ごみ出しが特に悪い場合、職員が直接出向き指導している。今後ともごみ集積所適正管理に努める。

*ふれあい指導班：清掃事務所の指導相談業務。ごみ出しの苦情があった現場へ向かい、違反ごみの郵便物等から排出者を特定し、ルールを守るようお願いしに行く。

■資源ごみ集団回収移行へのご見解は？

	戸田市行政回収(缶・瓶・布・紙類)	新座式集団回収(布・紙類)
回収	市が業者委託:約1.7億円	地域団体と業者と契約
売却益	市の利益:3877万円	回収業者の利益
交付金	町会報酬:3200万円(売却益より)	地域団体:4円/kg 業者:布4円/kg他
備考	事業費高額だが、安定性があり、職員負担が少ない。	現集積所を活用。費用削減効果。職員事務増や移行中二重投資リスク

やざわ 地域団体が業者と直接契約して資源ごみを回収する集団回収は、経費削減が見込まれ、現在、県内56市町村を始め、多くの自治体で採用されている。特に新座市方式は現在の回収事業を保ちつつ、削減効果を見込め、町会の負担も少ない。移行へのご見解を伺う。

環境経済部長 移行期間の費用面等が問題。研究する。

■非効率な不法投棄夜間回収の見直しを！

不法投棄	決算(H28)	体制	ゴミ(動物)
日中回収	約1700万円	日中9時間 2人	3,627個(576匹)
夜間回収	約1000万円	夜間3時間 3人	768個(51匹)

やざわ 夜間回収は3人体制や夜間割増し料金、見通しの悪さにより、日中に比べ約1.8倍の事業費、約4.3割減の回収数となっている。非効率な夜間回収事業の見直しを。

環境経済部長 時間や体制等効果的な手段を検討する。

会派活動

その他の活動について

衆院選期日前投票

2017.10.06 @戸田市役所
 戸田の会では期日前投票を推進しています。写真は「手ぶらで投票OK!」のポーズ。投票券や身分証等不要で誰でもできる便利な投票の形です。



戸田マラソン2017

2017.11.19 @彩湖道満
 彩湖完成20周年記念戸田マラソン2017に出場しました。晴天に恵まれ、金野と浅生が5km、佐藤が10km、矢澤が21kmを完走いたしました。



会派駅頭活動

2017.10.30 @戸田駅
 朝6:30より戸田駅にて菅原県議と駅頭活動。こういった広報活動が、市民の皆さんに議会を知っていただき、直接ご意見をいただける機会へとつながります。



戸田市賀詞交歓会

2018.1.7 @戸田市文化会館
 市長をはじめ、議員、商工会、町会など市内の団体や地域の方々が一室に会する戸田市賀詞交歓会に出席。みなさんへ新年のご挨拶をいたしました。

会派市政報告会

2017.11.5 @あいパル
 「戸田市の未来に向けての政策」のグループディスカッションや意見交換など、多くの市民の皆さんと市政の課題について活発に話し合いました。



ご意見募集中!

市政への皆様のご意見をお寄せください。

- ① ホームページのフォームから:todanokai.com/
- ② 電子メール: info@todanokai.com
- ③ 電話/FAX: 048(871)6391
- ④ 郵送: 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目5-4-15

埼玉県戸田市議会
戸田の会